

令和5年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来観光ビジネス学科	科目名	観光学総論		
授業種類	講義	履修区分	必修	履修時期	通年
授業時間	60単位時間	担当教員	酒井智昭		
授業 内容	《授業概要》				
	<p>この授業は「観光」全般を広く総論として学びます。 ①観光学 ②観光に関する産業 ③観光を通じた地域創生 上記3つのテーマについて、基礎知識を習得しながら問題意識を涵養して、関係する諸科目への橋渡しの役割を果たすような授業を行います。 国土交通省、観光庁をはじめとした官公庁や関連団体のWEBから資料やデータを収集して分析することにも時間を費やしていきます。また、観光DXやメタバースなどの最新事例や時事的ニュースも紹介していきます。 観光を歴史と現状、あるべき姿について考えていきましょう。</p>				
	《学習の到達目標》				
	1 観光学習、観光産業学習、地域創生について全般的な基礎知識が身につく。 2 これらの学習について高度な学びへのモチベーションが高まる。 3 各種の統計データの分析について慣れることが出来る。 4 先端技術の観光への導入につて知見を深めることが出来る。				
授業計画					
前期			後期		
1	ガイダンス	16	博物館、美術館と集客		
2	観光の歴史(世界の観光史)	17	地域に生きる博物館、美術館		
3	観光の歴史(日本の観光前史と観光の国際化と大衆化)	18	観光政策と観光立国の推進		
4	観光サービスと観光行動と観光対象の分類	19	近年における国際観光の動向と社会変容		
5	観光行動論と観光行動	20	シンガポールの観光政策		
6	訪日観光の現状と観光産業の定義	21	地域観光とまちづくり①		
7	観光統計	22	地域観光とまちづくり②		
8	旅行産業の特質と形態、現状と展望	23	コンテンツツーリズム		
9	宿泊産業の現状、運営と新しい展開	24	ブライダルツーリズム		
10	運輸産業の特筆	25	メディカルツーリズム		
11	航空会社の経営戦略とLCCの発展	26	ダークツーリズム		
12	テーマパーク産業の歴史	27	フードツーリズム		
13	テーマパーク産業の現在地と展望	28	祭礼文化と観光		
14	文化施設と観光	29	年間のまとめ①		
15	前期の総括	30	年間のまとめ②		
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	〈教科書〉入門観光学(ミネルヴァ書房) ※教科書の統計データが最新のものとない場合は、必要に応じて最新版(WEB上)を紹介していきます。また、必要に応じてプリントを配布します。 〈参考書〉取扱うテーマが広範囲に及ぶため授業の都度入手しやすいものを紹介していきます。				
成績評価	前期試験と後期試験が70%、その他、課題提出などで30%				
履修上の 留意点	☆授業は教科書に沿って進行しますから、予習として次回の該当ページを読んでおいて下さい。 ☆復習は教科書、ノート、配布されたプリントから学習して下さい。 ☆年間に数回のレポート課題を課しますので、しっかりと取り組みましょう。 統計資料(データ)を読み込むことにも慣れていきましょう。統計資料(データ)のチェックはスマートフォンでも可能ですが、可能であればPCを使用できれば良いと思います。 ・・企業実習との関係で授業計画(進度)の入れ替えを行う場合があります。				